

■ 施策評価シート

施策番号	14-01-①	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	30. 良好な環境の保全と創出
施策名	自然環境の保全		

施策の概要

「草津市の自然と人との共生をすすめる施策の推進計画」に基づき、緑再生プロジェクト、生き物調査プロジェクトなどを市民・団体・事業所などとともに進めます。

成果指標(単位)	いきもの調査参加者数(人)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		635	640	645
実績値	630	595	616	807

成果指標実績に対するコメント

平成28度は市内で実施される「いきもの調査」を取材し、身近な環境に興味や関心を持っていただける取組みがさらに市域に広がるよう取組内容をHP等で周知し、目標値を上回る市民に参加いただけた。

施策の達成度評価

いきもの調査を通して、多くの方に草津の身近な自然に興味・関心を持ち、その大切さを知っていただくことができた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

市民に身近な環境に興味や関心を持っていただけるよう、HP等において、さまざまな「いきもの調査」の取組みを工夫して紹介するとともに、講師派遣等の支援制度を活用いただきながら、「いきもの調査」がさらに市域へ広がるよう機会づくりに努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自然環境保護事業	環境課	○	自然環境保全地区の助成や保護樹木の補助金交付や健康診断を通じて、市内の良好な環境を保全した。
自然環境啓発推進事業	環境課	○	草津市の自然と人との共生をすすめる施策として、市民に自然に親しんでいただく機会を提供できた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
鳥獣保護推進事業	環境課
環境審議会運営事業	環境課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-01-②	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	30. 良好な環境の保全と創出
施策名	環境学習の内容充実		

施策の概要

環境学習等に関わる様々な活動情報を提供・発信できる場づくりや、環境学習に取り組む人・団体などの活動支援を図ります。

成果指標(単位)	こども環境会議の参加団体数(団体)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	62	63	62
実績値	60	50	61	53

成果指標実績に対するコメント

日程他の要因により、エコクラブを中心としたこどもブースの出展団体が減少したことにより、平成27年度実績に対し、平成28年度は減少したものの、全小学校の参加を得ることができた。より多くの団体に出席いただけるよう、周知方法等の検討を進めていく。

施策の達成度評価

環境基本計画に基づき、環境学習社会づくりとして、こども環境会議の開催のみならず、環境学習教材の貸出や環境学習への講師派遣事業等、施策の目標達成に向けて事業を実施した。こども環境会議への参加団体数が増加し、交流・情報交換が活発になるよう、周知方法等の検討を進めていく。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

成果指標の目標値達成に向けて、こども環境会議へ多様な団体の参加を呼びかけるとともに、環境活動等の情報を発信できる場をより充実させるよう、企業や団体等へも広く呼びかけを行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

過去に、参加者への呼びかけを積極的に行うことで、出展団体数が増加した経緯もあることから、広く効率的に周知を行えるよう検討していきたい。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境学習推進事業	環境課	○	教材貸出事業や講師派遣事業の件数については横ばい、或は増加の傾向にあり、学校や地域での環境学習の推進に寄与している。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-01-③	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	30. 良好な環境の保全と創出
施策名	環境汚染、環境負荷対策の促進		

施策の概要

大気や琵琶湖・河川水質等に係る環境調査を継続的に実施するとともに環境負荷の低減のため事業所等の適切な指導に努めます。

成果指標(単位)	環境管理基準(BOD)の達成状況(達成回数/測定回数)(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	100	100	100
実績値	100	95.8	100	91.7

成果指標実績に対するコメント

平成28年度においては、狼川で基準に至らない回があった。平成27年度は、両河川において100%達成することができ、近年の環境管理基準の達成状況は、概ね高水準で推移している。

施策の達成度評価

調査の結果、狼川においてBODが2回、環境管理基準を超過し、水質は一定でないものの、長期的には改善傾向にあると評価できる。今後も河川の監視を行うとともに、特異な状況が確認された際には、随時原因を調査し、流域の事業所指導を継続していく必要がある。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

河川水質の監視を続けるとともに、環境負荷の低減に向けた事業所等の適切な指導に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境調査事業	環境課	○	環境管理基準(BOD)を高水準で維持することができている。
事業所等指導事業	環境課	○	定期的に事業所へ立入指導を実施するとともに、環境負荷が大きいと懸念される事業所を定期的にパトロールし、積極的に指導・啓発できた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
流域下水道維持管理費負担金事務	河川課
市街地排水浄化施設維持管理事業	河川課
浄化槽法等指導事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-02-①	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	31. 低炭素社会への転換
施策名	様々な主体が参画するプラットフォームの構築		

施策の概要

様々な主体が参画する「草津市地球冷やしたい推進協議会」のネットワークを拡充させ、低炭素社会への転換に向けた取り組みを推進します。

成果指標(単位)	草津市地球冷やしたい推進協議会会員数(者)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	74	76	78
実績値	69	69	71	71

成果指標実績に対するコメント

各種イベントやHP、また市内事業所を訪問した際等に、協議会活動のPRおよび「愛する地球のために約束する協定」締結の促進を行い、1者が新たに協定会員として加入されたが、同年に1者が退会されたことから、平成28年度においては、協議会員数の増加には至らなかった。今後は、会員のネットワークを利用し、積極的なPR活動や、新規業種への協定締結促進等を通して会員数の増加に努める。

施策の達成度評価

草津市地球冷やしたいプロジェクトの推進や各イベントでの啓発活動、先進地視察研修など草津市地球冷やしたい協議会で取り組むことができた。今後、地球温暖化防止に向け、協議会のネットワークを広げ、取り組みを加速させる必要がある。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

各種イベントやHPなどを通じて協議会への加入を促すとともに、温暖化対策に資する様々な行動を選択する国民運動「COOL CHOICE」を推進し、低炭素社会への転換に向け、引き続き取り組みを進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

パリ協定の採択および発効、国の地球温暖化対策計画の策定、国が掲げた国民運動である「COOL CHOICE」の影響により、温暖化対策の取り組みの潮流が国内のみならず、国際的にも高まっているといえる。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域協議会運営事業	環境課	○	協議会全体で地球冷やしたいプロジェクトを推進し、低炭素社会への転換に向けて取り組むことができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
広報啓発活動事業	環境課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-02-②	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	31. 低炭素社会への転換
施策名	省エネルギーと新エネルギー利用の推進		

施策の概要

省エネルギーに配慮した生活・事業活動を促進するとともに、新エネルギーの利用促進を図ります。

成果指標(単位)	各種イベントにおける省エネ、新エネの利用促進に係る啓発者数(人)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	2,400	2,500	2,600
実績値	2,300	2,430	2,462	2,786

成果指標実績に対するコメント

市内各所のイベントに出展する機会を得て、省エネルギーと新エネルギー等に関する啓発を実施し、昨年度実績値および目標値を上回る結果となった。

施策の達成度評価

宿場まつり(市民向け)や草津エコフォーラム(主に事業者向け)、草津市地球冷やしたい推進フェア(市民向け)など、異なる対象および時期において、省エネルギーおよび新エネルギーを周知するためのイベントを開催し、目標値を達成することができた。また、市の事業である省エネ家電買換費補助制度や雨水タンク設置費補助制度の周知を図ることで、省エネルギーと新エネルギーの利用促進を図ることができた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

実績人数を増やしていくため、各種イベントにおいて、より多くの方に啓発し、省エネルギーに配慮した活動の促進や新エネルギーの利用促進を図る必要がある。そのためには、平成29年度より実施するスマートエコシティに係る蓄電池等設置費補助制度の事業を展開しながら、省エネルギー・新エネルギーの先進事例などの情報を収集し、啓発機会の充実を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

平成27年11月にパリ協定が採択され、平成28年5月に政府が地球温暖化対策計画を策定。その計画の目標を達成するために、国民運動である「COOL CHOICE」が展開された。これらの国際的な動向や国内の動向から、温暖化に対する意識が高まってきているといえる。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
エネルギー対策事業	環境課	○	省エネ家電買換費補助制度により、3か年で杉の成木約4,400本が1年間に吸収するCO2が削減でき、一定の成果があった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
風力発電施設維持管理事業	環境課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-03-①	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	32. 資源循環型社会の構築
施策名	廃棄物の発生抑制・資源化の推進		

施策の概要

ごみ収集方法を見直すなど、ごみの減量・資源化を推進します。

成果指標(単位)	ごみの資源化率: 資源化ごみ量/ごみ発生量(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	22.8	23.0	21.4
実績値	19.5	19.2	19.1	20.2

成果指標実績に対するコメント

事業所から排出される廃棄物のうち、市外の処理施設で処理しているごみ量および資源化ごみ量を、平成28年度から反映したため、より正確なごみ量となり目標値に近づいたが達成はできなかった。

施策の達成度評価

平成27年度と比べ、ごみ量は減っているものの、町内会や子ども会、PTAなど各種団体が実施した資源回収活動の回収量が大きく減少した(△372t)ことと、家庭系ごみの委託収集の資源物の収集量が減った(△156t)ことによる。事業系ごみは、昨年に引き続き直接訪問による指導啓発の成果によりごみの減量を進められた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

平成27年度に策定した一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(改訂版)に基づき目標達成に向け取り組んでいく。家庭系ごみについては、焼却ごみ類に多く含まれている古紙類の分別の徹底、生ごみの削減を中心に取り組み、事業系ごみについては、引き続き事業所に対するごみの分別徹底と資源化に向けた取り組みを進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ問題を考える草津市民会議 活動補助事業	ごみ減量推進課	○	市民会議が主催となり、市内一斉清掃やリサイクルフェアの開催、各種イベントでの啓発等、3Rの推進に努めた。
資源ごみ収集運搬事業	ごみ減量推進課	○	ペットボトル、空き缶、びん、舌紙の定期収集と、乾電池、蛍光灯の拠点回収を実施し、ごみ減量とリサイクルの推進に努めた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみ減量化推進事業	ごみ減量推進課
プラスチックごみ資源化処理事業	クリーンセンター
金属ごみ資源化処理事業	クリーンセンター
びん類ごみ資源化処理事業	クリーンセンター
ペットボトルごみ資源化処理事業	クリーンセンター
廃乾電池・廃蛍光灯資源化処理事業	クリーンセンター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	14-03-②	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	32. 資源循環型社会の構築
施策名	廃棄物の適正処理		

施策の概要

処理方法に適した分別方式や、ごみ量に応じた収集体制を整備するとともに、各種施設を計画的に整備し、ごみを適正に処理します。

成果指標(単位)	排ガス中ダイオキシン類測定結果 (ng-TEQ/Nm ³)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	1	1	1
実績値	0.020	0.035	0.035	0.026

成果指標実績に対するコメント

一般廃棄物処理施設の維持管理の技術上の基準を満たすよう施設の運転を行った結果、排ガス中のダイオキシン類の測定値は、法令で定められた基準値の5ng-TEQ/Nm³はもちろんのこと、目標値である1ng-TEQ/Nm³も満たすことができた。

施策の達成度評価

一般廃棄物処理基本計画および一般廃棄物処理実施計画に基づき、一般廃棄物の収集、運搬、処分等を行った。現施設については、老朽化が進んでいることから、計画的・定期的に補修を実施し、ごみ焼却処理施設の適正な維持管理に努めた。また、新施設については、主に土木建築工事を実施し、一部プラント工事も実施した。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

現施設については、平成29年度中に稼働を終える。また、新施設の運転管理等については、消耗品・薬剤調達や点検維持補修も含めて民間事業者への包括的委託となるため、当該業務の確実な履行や各種基準値の遵守状況について、モニタリングにより確認する。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ収集運搬事業	ごみ減量推進課	○	各家庭から排出される廃棄物の定期収集を行うことにより、生活環境の保全に努めた。
焼却ごみ処理事業	クリーンセンター	○	計画的・定期的に施設の補修を実施し、ごみ焼却処理施設の適正な維持管理をすることができた。
廃棄物処理施設整備事業	廃棄物処理施設建設室	○	新施設では、主に土木建築工事を実施し、一部プラント工事も実施した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみステーション新設改修補助事業	ごみ減量推進課
広域廃棄物物理立処分場建設費負担金事業	ごみ減量推進課
草津市処分場管理事業	ごみ減量推進課
湖南広域行政組合運営負担金事務	ごみ減量推進課
指定ごみ袋購入配布事業	ごみ減量推進課
ごみ分別啓発事業	ごみ減量推進課
クリーンセンター管理運営事業	クリーンセンター
陶器・ガラスごみ処理事業	クリーンセンター
破碎・粗大ごみ処理事業	クリーンセンター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	環境
		基本方針	32. 資源循環型社会の構築
施策番号	14-03-③		
施策名	環境美化の推進		

施策の概要

ごみの不法投棄防止のため、定期的なパトロールを実施するほか、市民・事業者・行政等が協力し、環境美化に努めます。

成果指標(単位)	不法投棄ごみ率: 不法投棄ごみ量/ごみ発生量(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	0	0	0
実績値	0.07	0.07	0.06	0.06

成果指標実績に対するコメント

平成27年度と比べ、不法投棄ごみ量は減少(△3.59t)したが、全体のごみ量も減少したため、不法投棄ごみ率は同率となった。

施策の達成度評価

不法投棄ごみ量に加え、パトロールによる不法投棄発見箇所および投棄発見回数も減少しており、重点地区に対する啓発対応、早期回収による不法投棄が放置されたままとなることで起こる不法投棄の誘発の防止など、パトロールによる一定の効果がみられる。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

事業効果の高いパトロールは引き続き実施し、また監視カメラやダミーカメラを有効に活用し、ねばり強く不法投棄解消を目指す。
悪質性が高いと判断した場合は、警察への通報も含め、地域と連携し解決を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
不法投棄対策事業	ごみ減量推進課	○	不法投棄発見箇所および投棄発見回数は減少しており、パトロール業務の継続や監視カメラ設置が不法投棄の防止につながった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
放置自動車廃物判定委員会運営事業	ごみ減量推進課
生活環境等対策事業	クリーンセンター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。